

JFE システムズ 株式会社

2019年上期 決算説明会

2019年10月28日

目次

01

2019年上期決算概要

P4

02

2019年度業績見通し

P7

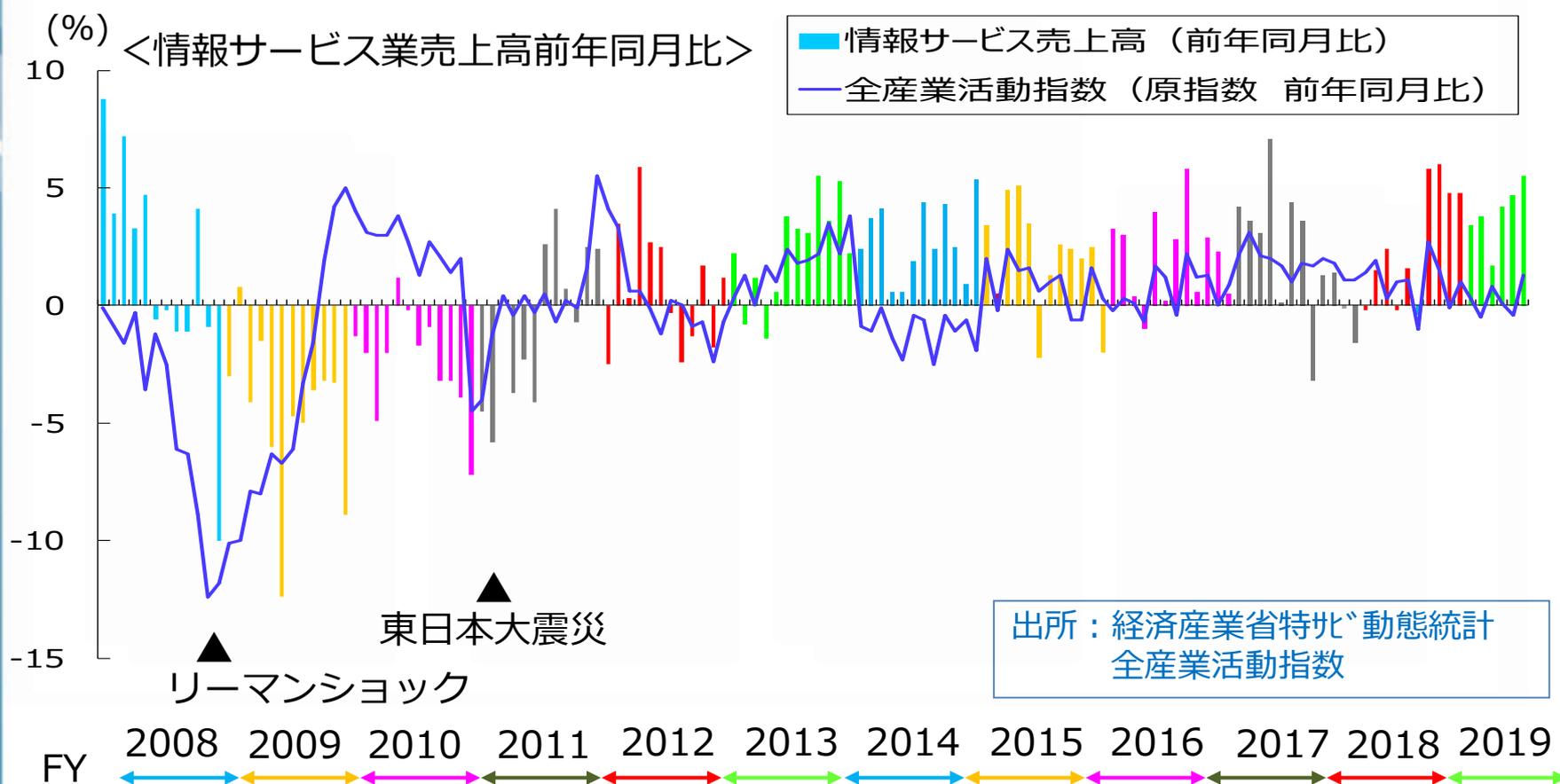
03

トピックス

P13

事業環境

- ◆ ITサービス市場は、製造業でのIT投資拡大など、引き続き堅調に推移するものと予想される。
- ◆ 当社においては、製鉄所システムリフレッシュなどの大型IT投資が継続する一方、一部の顧客からは今後のIT投資に慎重な傾向も見られる。



01

2019年上期決算概要

2019年上期業績（連結：前期比）

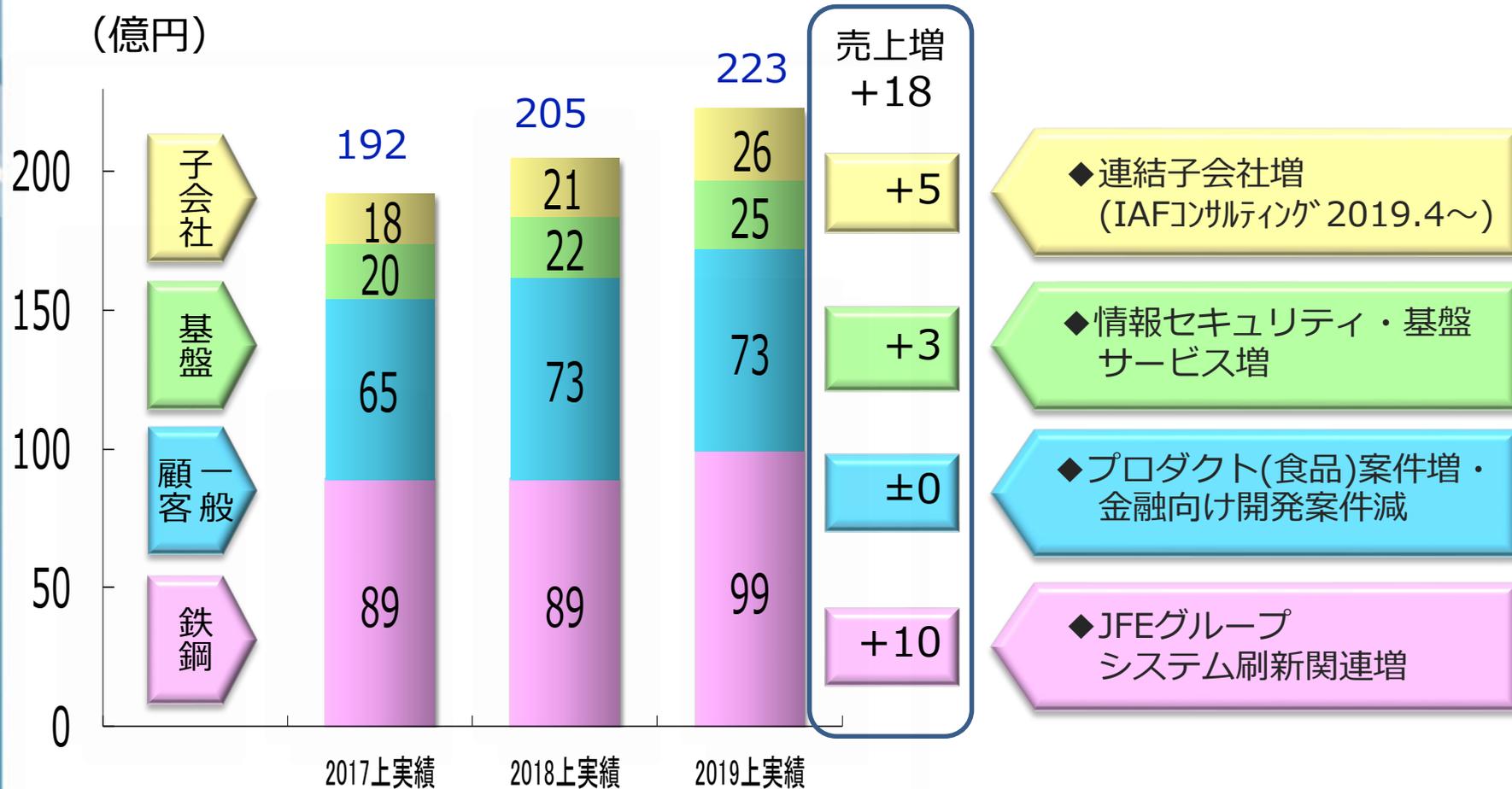
- ◆ 売上・利益ともに過去最高額を更新。
- ◆ 売上高経常利益率も高水準。

単位：百万円

	2018年度 上期実績	2019年度 上期実績	増減	
			金額	率
売上高	20,482	22,279	+1,797	+8.8%
営業利益	1,617	2,039	+422	+26.1%
経常利益	1,605	2,028	+423	+26.4%
(経常利益率)	7.8%	9.1%	+1.3ポイント	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,075	1,311	+236	+21.9%

2019年度上期事業別売上高（連結）

◆ 鉄鋼部門の売上増に加え、新たな連結子会社（IAFコンサルティング）の売上が寄与。



02

2019年度業績見通し

2019年度業績見通し（連結：前回見通し比）

◆ 好調な上期業績を受け、通期業績見通しを上方修正。

単位：百万円

	前回(4/24) 見通し 2019年度	今回(10/28) 見通し 2019年度	増減	
			金額	率
売上高	48,000	48,000	±0	±0%
営業利益	3,600	4,000	+400	+11.1%
経常利益	3,600	4,000	+400	+11.1%
(経常利益率)	7.5%	8.3%	+0.8ポイント	
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,350	2,600	+250	+10.6%

2019年度業績見通し（連結：前期比）

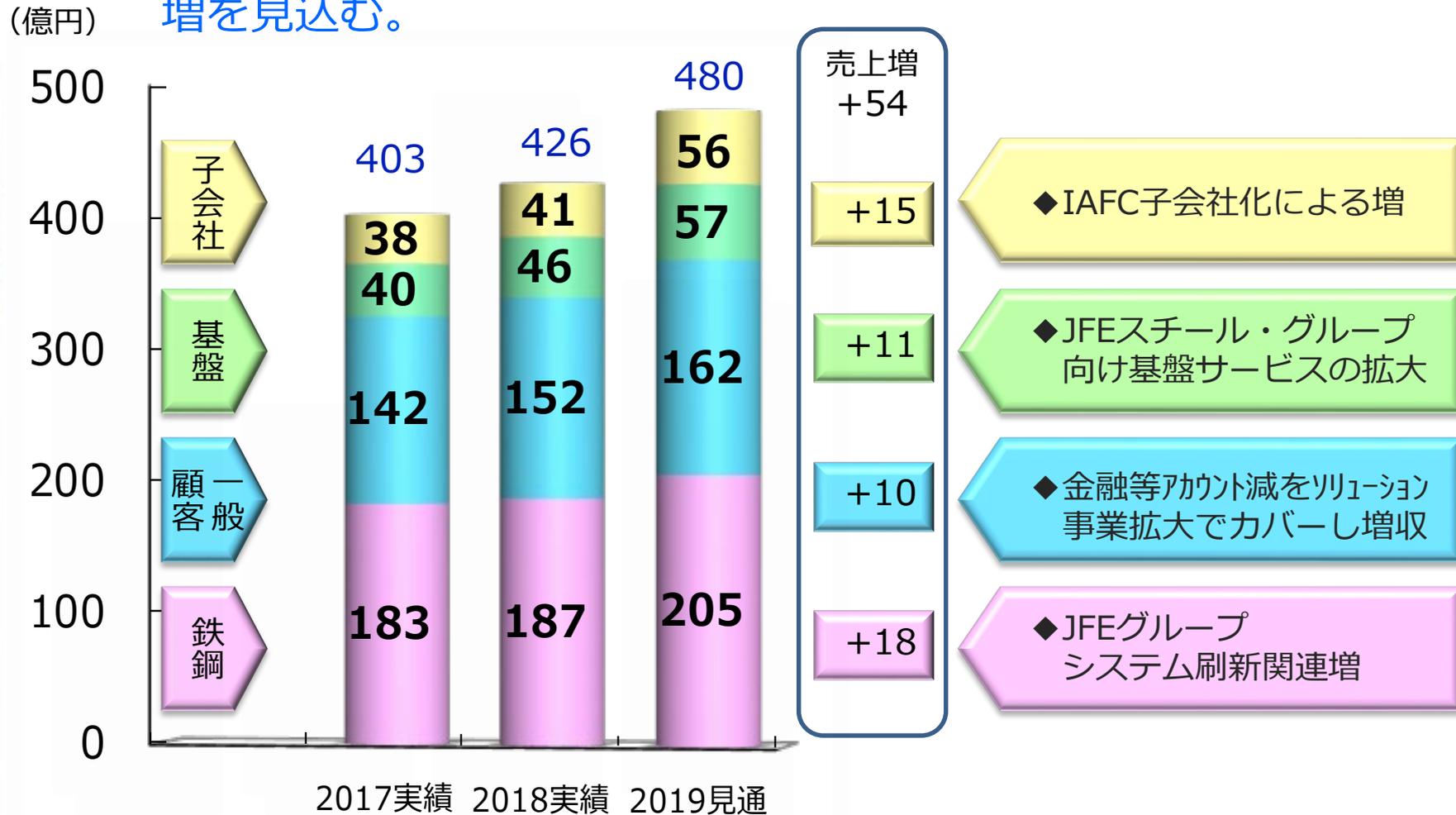
◆ 6期連続で過去最高額更新の見通し。

単位：百万円

	2018年度 実績	2019年度 見通し	増減	
			金額	率
売上高	42,581	48,000	+ 5,419	+12.7%
営業利益	3,473	4,000	+527	+15.2%
経常利益	3,448	4,000	+552	+16.0%
(経常利益率)	8.1%	8.3%	+0.2ポイント	
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,322	2,600	+278	+12.0%

2019年度事業別売上高（連結）

- ◆ 売上高見通しは変更無し。
→鉄鋼向・ソリューション新子会社の寄与を中心に全部門での売上増を見込む。

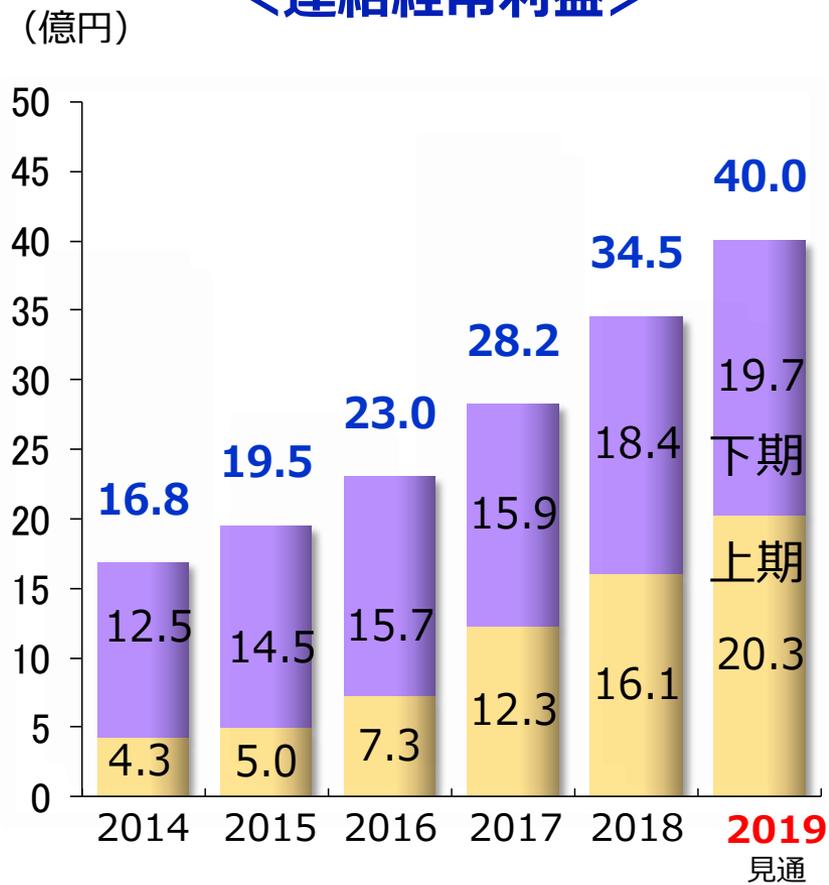


＜参考＞業績推移（上・下期別 2014-19）

＜連結売上高＞

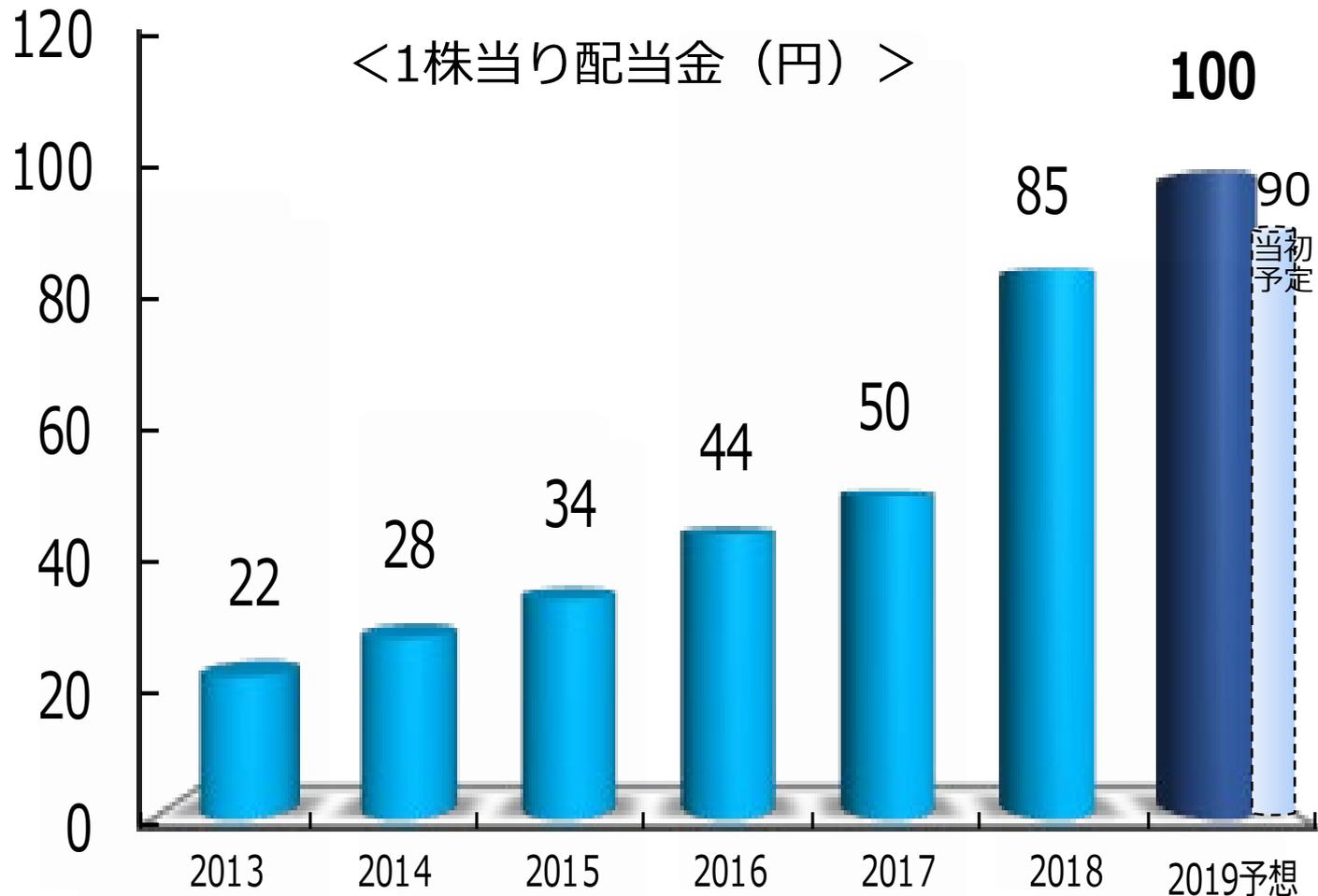


＜連結経常利益＞



株主還元

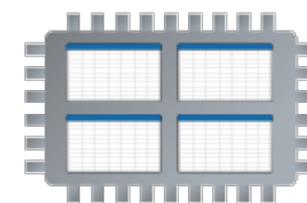
- ◆ 前述の通り、業績予想の修正を受け、当初予定である90円/株から **10円増配の100円/株**に上方修正。



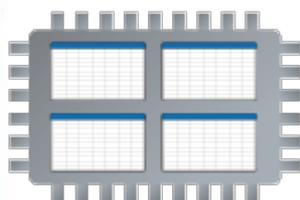
03

トピックス

新統合ブランド SIDEROS (シデロス) ラインナップの拡充



*=既存のSAP ERPのサポートサービスが2025年に終了するため、SAP ERPのユーザー企業は、S/4HANAなどへの移行が必要



SAP S/4HANA
1809版リリース
(2019.7)

SAP S/4HANA
1809版リリース
(2019.6)

✓ SAPの「2025年問題(*)」を控え、上記ラインナップを梃子に
ユーザ企業による更新需要を捕捉していく

JFEホールディングスが 5年連続で「攻めのIT経営銘柄」に選定

- ✓ 経産省と東証が、攻めのIT経営に積極的に取り組む29企業を選定。
(5年連続は6社のみ)
- ✓ 評価内容である「製鉄製造設備の保全システム統合と高度ICT活用」のうち、当社はこの中の「制御故障復旧支援システム (J-mA I s t e r[®])」の開発を担いました。



新田JFEスチール常務 (中央)
当社・杉原執行役員 (左)
渡邊販生流システム開発部長 (右)

制御故障復旧支援システム(J-mAIster®)



AIによる診断 ⇒ 故障復旧迅速化

JFEスチール様 本社基幹系業務(オンライン)システムのハイブリッドクラウドへの移行を支援

- ◆ 1500万ステップにおよぶ本社オンライン系システムを約1年間で移行し、JFEスチール様のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に大いに寄与

○移行イメージ



信頼性が高い一方、各社独自規格で構築されているため、機能の拡張性等に課題あり。

→柔軟なIT構造の構築には不向き

メインフレーム環境と同水準の信頼性を持つことに加え、先端ICT技術の適用等、柔軟なシステム拡張が可能

2019年上期の製品リリースについて

◆ 主力3商品のオプション・新バージョンを相次ぎ販売開始

○商品のご紹介

電子
帳票
保存

電子帳票システム



FiBridge® II

業務に密接している帳票の安全
かつ長期保存に優れた電子帳票
システム

電子帳票
パッケージ
で12年連続
シェアNo.1を
獲得 (2007-19富士キメラ総研調)



株式会社富士キメラ総研調べ
2007～2018年度実績(金額)2007～2011、2017～2018年度、数量)2009～2018年度
株式会社富士キメラ総研「パッケージソリューションマーケティング調査」ソフトウェアビジネス新市場

オープンシステム向け電子帳票システム



File Volante®

オープン系システムで生成された
帳票を長期かつ効率的な保管・
活用に優れた電子帳票システム

2018年2Q、金融関係向け
大型案件獲得
→昨年度の増収増益に大きく
寄与

電子
証跡
保存

データ保存・配信ソリューション



Data Delivery®

電子ファイル等に改ざんがないことを
担保する「デジタル証跡」として長期
保存可能な情報基盤ソリューション

ペーパーレスによる働き方改革機
運の高まり、電子帳簿保存法の
規制緩和を追い風に、さらなる拡
販を志向

2019年上期の製品リリースについて

◆ 主力3商品のオプション・新バージョンを相次ぎ販売開始

○ 上期の商品リリース

電子
帳票
保存電子帳票システム
 **FiBridge® II**

・最新版(ver.5.4)をリリース(2019.8)

⇒RPA製品との親和性向上により、帳票業務の自動化をさらに促進

オープンシステム向け電子帳票システム
 **FileVolante®**

・新オプション「帳票ワークフロー」販売開始(2019.6)

⇒帳票の回覧・承認を電子化、完全ペーパーレス化を実現

電子
証跡
保存データ保存・配信ソリューション
 **DataDelivery®**

・導入サービスをパッケージ化して販売開始(2019.6)

⇒導入コストを抑え、短納期で電帳法対応・ペーパーレスが可能に

JFE システムズ 株式会社

ご清聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。